

09/787,609

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-145917

⑬ Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)6月18日

G 01 D 21/00

Q-7809-2F

審査請求 有 発明の数 1 (全6頁)

⑮ 発明の名称 ホール・テスト・システム

⑯ 特 願 昭61-293044

⑰ 出 願 昭61(1986)12月9日

⑱ 発 明 者 渡 部 文 雄 東京都中央区銀座2丁目16番7号 株式会社ビデオ・リサーチ内

⑲ 発 明 者 高 森 茂 東京都中央区銀座2丁目16番7号 株式会社ビデオ・リサーチ内

⑳ 出 願 人 株式会社 ビデオ・リサーチ 東京都中央区銀座2丁目16番7号

㉑ 代 理 人 弁理士 高山 道夫 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

ホール・テスト・システム

2. 特許請求の範囲

商品もしくはテレビ・コマーシャルにかかる所定の映像、音声モニター・テレビから送出し、一室に会した対象者の反応をコードレスのキーパッドにより得、検出したデータを適宜処理することを特徴としたホール・テスト・システム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は新商品もしくは新作テレビ・コマーシャルの評価を得るためのホール・テスト・システムに関する。

(従来技術およびその問題点)

新商品の色、形、デザイン等を発売前に対象者に見せて評価を得るパッケージ・テストや、新作テレビ・コマーシャルを放送前に対象者に見せて評価を得るコマーシャル・テストとして種々の手段が試みられている。

一般には、一室に会した対象者に商品やコマーシャルを見せ、アンケート用紙で回答を得る方法が行われているが、この方法では、

① 短時間に人間が物事を判断して行動する反応行動が測定できない。

② 隣席の人の影響を受けて正しい回答を誤ないやすい。

③ アンケート結果の集計に時間を要し、ミス回答や未回答がその場でチェックできず、結果が早く得られない。

等の欠点があった。

一方、反応行動については皮膚反応の測定や、アイカノラ、タキスト・スコープを使用した方法も試みられているが、この方法では、

④ 多人数のテストには不向きである。

⑤ 対象者を特別な環境に置くことになり、平常とは異なる結果となりがちである。

といった欠点があった。

(問題点を解決するための手段)

本発明は上記の点に鑑み提案されたものであ

り、その目的とするところは、対象者の反応行動を検出でき、隣席の人の影響を受けず正確な調査が行え、集計が短時間で入って結果が早く得られ、多人数を対象とした調査に向き、リラックスしたムードで正確な調査の行えるホール・テスト・システムを提供することにある。

本発明は上記の目的を達成するため、商品もしくはテレビ・コマーシャルにかかる所定の映像、音声モニター・テレビから送出し、一堂に会した対象者の反応をコードレスのキーパットにより得、検出したデータを適宜処理することを特徴としたホール・テスト・システムを要旨としている。

(作用)

本発明は、多人数の対象者が一堂に会し、対象者全員が同様の条件でテスト商品やコマーシャルを見ながら、コードレスのキーパットを押して回答を得るようにしているため、人間が短時間に判断し行動する反応行動やアンケート式の回答を本体コンピュータが即時に集計し、グ

ラフとしてディスプレイし、またはプリント出力することができる。

また、対象者はコードレスのキーパットを持つだけで、特別な環境による影響もなく、更に、キーパットの数字表示部は隣席から見えないよう深く沈めて取り付けることが可能であるため、対象者は隣の人を気にしないで自由に回答が行えるものである。

また、回答結果は本体コンピュータのCRTディスプレイと別室のCRTディスプレイとに同時に表示することができ、ミス回答や未回答をチェックしながらテストの進行を図ることができる。

また、対象者に影響を与えない別室で結果を同時に見ることもでき、正しい結果を早く得ることができる。

(実施例)

以下、実施例を示す図面に於いて本発明を詳述する。

第1図は本発明のホール・テスト・システム

の一実施例の構成を示したものである。図において、5は対象者にテスト映像を見せるためのモニター・テレビであり、部屋の広さと対象者の人数に応じて適当台数備えられ、予め準備したテスト映像のビデオ・テープを提示用ビデオ・テープ・レコーダ4から送出するようになっている。なお、本発明のテスト・システムは室内に限らず、屋外での使用も可能である。

また、3はカメラ1で撮影したテスト商品またはコマーシャル用ビデオ・テープ・レコーダ2からのテレビ・コマーシャルを加工、編集してテスト映像を作成する映像コントローラであり、テストに先立って加工、編集を行い、テスト映像を予め準備しておく。

一方、8は対象者が回答を入力するためのコードレス方式のキーパットであり、対象者個人に持たせておくものである。なお、それぞれのキーパット6には番号を付してあり、誰が回答したかがわかるようになっている。

次いで、キーパット6からのデータは受信機

7で受信され、本体コンピュータ(CPU)8がそのデータを受け取り、集計を行うようになっている。また、本体コンピュータ8はコンソール10、13に接続され、集計した結果をディスプレイ11、14に出力するようになっている。なお、プリンタ12、15への出力も必要に応じて行えるようになっている。

更に、本体コンピュータ8ではデータをフロッピー9に同時に書き込むようになっており、フロッピー9はテスト後に再度結果をプリント出力したり、詳細なデータ分析のためホスト・コンピュータ16にデータを搬送するために用いられ、そのため全データが記録されている。

また、ホスト・コンピュータ16は過去のテスト結果との対比分析や、対象者の年齢別、性別等のより詳細な分析を行うために使用し、プリンタ17により出力可能となっている。

第2図(イ)はコードレス式のキーパット6の外観の一例を示したものであり、(ロ)はその側面図である。しかして、8aは入力キー、8bはア

ンテナ、6cは表示窓であり、表示窓6dは表示窓6c下部の深い位置に取り付けられ、隣席の人から表示内容が見えないようになっている。

次に、第3図は映像コントローラ3の詳細を示したものであり、第4図および第5図はその動作(テスト映像の作成)の説明図である。

しかして、第3図において、カメラ1、コマーシャル用ビデオ・テープ・レコーダ2等の信号源の映像信号 V_1 、 V_2 を映像コントローラ3にそれぞれ入力し、音声信号 A_1 、 A_2 も同様に入力する。映像コントローラ3は入力された映像信号 V_1 、 V_2 と音声信号 A_1 、 A_2 のそれぞれについてスイッチ部3bにより選択(いずれか一方を選択し、あるいは、どちらも選択しない)し、時間経過とともに提示映像の加工と編集を行い、提示用ビデオ・テープ・レコーダ4に録画するための映像信号 V_{out} と音声信号 A_{out} を作成する。なお、スイッチ部3bは制御部(CPU)3aの制御により映像信号 V_1 、 V_2 および音声信号 A_1 、 A_2 と同期信号SYとが自由に

選択できるものであり、同期信号SYのみを選択した時は映像信号 V_{out} に同期信号のみが出力され、映像の無い画面となる。

また、3cは映像信号 V_1 、 V_2 を切り換えた時に画面の同期がずれないように同一同期信号でカメラ1またはコマーシャル用ビデオ・テープ・レコーダ2を作動させるための同期発生器である。また、3dはテスト映像の開始時点を示す音声トーン信号(スタート信号)を発生する音声トーン信号発生器であり、音声トーン信号 S_{out} は提示用ビデオ・テープ・レコーダ4の音声トラックの片チャンネルに録音される。なお、3eはテスト映像の加工手順、編集手順を作業に先立ち制御部3aにプログラムしておくための入力キーであり、プログラム内容はディスプレイ3fに表示して確認できるようになっている。

第4図は映像信号の加工、編集の一例を示したものであり、 V_1 、 V_2 はカメラ1またはコマーシャル用ビデオ・テープ・レコーダ2から入力される映像信号、 V_{out} は提示用ビデオ・テー

プ・レコーダに録画する加工、編集された映像信号である。しかして、1秒間30枚の映像信号 V_1 、 V_2 の中から予め制御部3aにプログラムされた手順でスイッチ部3bを制御し、映像信号 V_1 もしくは映像信号 V_2 から必要枚数の画面を選択し、 V_{out} として出力する。

第5図は提示用ビデオ・テープ・レコーダ4に録画される信号の一例であり、 V_{out} は録画される映像信号、 S_{out} はスタート信号を示す音声トーン信号である。しかして、この例の場合は、映像を間欠提示する間隔を t_1 (秒)、スタート時の画面枚数を2枚、変化枚数を+1枚、テストの全体時間を t_{ALL} (秒)として予め入力キー3gにより制御部3aにプログラムされたものである。なお、音声信号の選択も同様であるが、音声信号は映像信号と別のタイミングで選択することもできるようになっている。

次に、本発明によるパッケージ・テストとコマーシャル・テストの個々についてテストの流れを説明する。

[パッケージ・テスト]

第6図はモニタ・テレビ5のテレビ画面5aに提示された画面の例であり、質問としては「…ランプーのパッケージとして①と②のどちらが良いと思いますか? 良いと思った時に①か②のボタンを押して下さい。」といったものを流す。なお、この場合は2種類のパッケージを比較調査するものであるが、3種類、4種類とパッケージの提示数を増しても良いし、また、1種類のパッケージで“良い”、“悪い”等の印象を質問するものでも良い。

第7図は提示ビデオ・テープ・レコーダ4の出力信号の一例であり、Sはスタート信号、Vは提示映像信号である。しかして、スタート信号Sにより本体コンピュータ8(第1図参照)はデータ収集と集計とを開始し、キーパット6に入力されるデータを受信機7を介して回収する。そして、第7図において、例えば提示画面は一定時間間隔で t_1 、 t_2 、…、 t_n の如く間欠的にモニタ・テレビ5に提示され、対象者はこれを

息ながら反応行動としてキーパット6のボタンを押して回答する。

第8図はディスプレイ11, 14の表示の一例であり、回答結果を即時に本体コンピュータ8が集計し、グラフ化してディスプレイ11, 14に表示する。なお、この例では時間とともに図を回答した対象者番号を上段に、図を回答した対象者番号を下段に表示するようにしている。

しかして、このテストでは多数の対象者が早い時間に回答したものほど、結果的に良いパッケージであると判断できる。また、同一条件でテストした他の多数のパッケージのテスト結果との比較も明確に数値化された時間と回答者数のデータから容易に行うことができる。

(コマーシャル・テスト)

第9図は提示用ビデオ・テープ・レコーダ4の出力信号の一例であり、Sはスタート信号、Vは提示映像信号である。しかして、スタート信号Sにより本体コンピュータ8はデータ収録と集計を開始し、キーパット6に入力されるデ

ータを受信機7を介して回収する。なお、第9図において、提示映像信号Vはテスト・コマーシャルを予め編集したもので、この場合はa, bの2つのコマーシャルを加工、編集してある。

第10図はディスプレイ11, 14の表示の一例であり、時間とともに“良い”、“悪い”のボタンを押した対象者番号を上段と下段に表示している。このように“良い”、“悪い”の回答数が秒単位でグラフ化され、場面毎に対象者の反応が測定できるため、場面を差し替えたり、多様な編集によるテスト・コマーシャルが同一条件でテストできる。また、同一条件でテストした他の多数のテレビ・コマーシャルのテスト結果との比較も明確に数値化された時間と回答者数のデータから容易に行うことができる。

また、第11図はプリント出力の一例であり、回答が行われた時間と回答者数との関係をグラフ化し、更に数値による表示も行っている。なお、プリント出力には第10図のディスプレイの表示と同様のものも可能である。

(発明の効果)

以上のように本発明にあっては、商品もしくはテレビ・コマーシャルにかかる所定の映像、音声モニター・テレビから送出し、一堂に集めた対象者の反応をコードレスのキーパットにより得、検出したデータを適宜処理するようにしたので、

- (イ)対象者の反応行動を検出できる。
- (ロ)同席の人の影響を受けず正確な調査が行える。
- (ハ)集計が短時間で行えて結果が早く得られる。
- (ニ)多人数を対象とした調査に向く。
- (ホ)リラックスしたムードで正確な調査が行える。

等の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

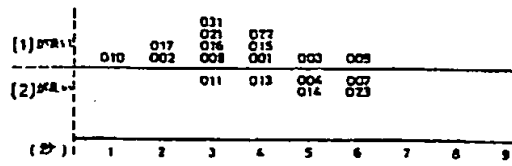
第1図は本発明のホール・テスト・システムの一実施例を示す構成図、第2図はキーパットの一例を示す構成図、第3図は映像コントロー

ラの詳細図、第4図および第5図はその動作説明図、第6図ないし第8図はパッケージ・テストの説明図、第9図ないし第11図はコマーシャル・テストの説明図である。

1……カメラ、2……コマーシャル用ビデオ・テープ・レコーダ、3……映像コントローラ、3a……制御部、3b……スイッチ部、3c……同期発生器、3d……音声トーン信号発生器、3e……入力キー、81……ディスプレイ、4……提示用ビデオ・テープ・レコーダ、5……モニター・テレビ、5a……テレビ画面、6……キーパット、6a……入力キー、6b……アンテナ、6c……表示窓、6d……表示器、7……受信機、8……本体コンピュータ、9……フロップ、10, 13……コントロール、11, 14……ディスプレイ、12, 15……プリンタ、16……ホスト・コンピュータ、17……プリンタ

特許出願人 株式会社ビデオ・リサーチ
代理人 弁理士 高山 道夫(ほか1名)

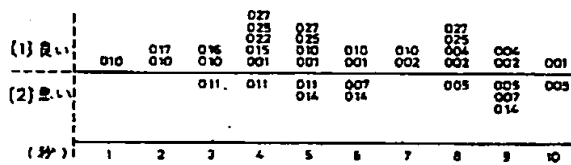
第 8 図



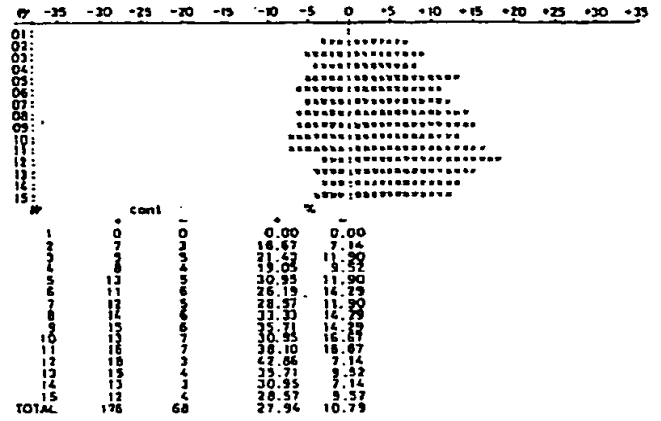
第 9 図



第 10 図



第 11 図



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-145917

(43)Date of publication of application : 18.06.1988

(51)Int.Cl. G01D 21/00

(21)Application number : 61-293044

(71)Applicant : VIDEO RES:KK

(22)Date of filing : 09.12.1986

(72)Inventor : WATABE FUMIO

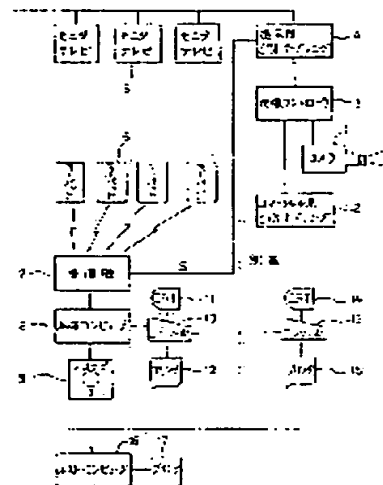
TAKAMORI SHIGERU

(54) HALL TEST SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a hall test system which enables accurate inspection in a comfortable mood, by transmitting a video of TV commercial or the like to process reactions of subjects gathered together properly with keypads.

CONSTITUTION: Subjects are gathered together and asked to respond viewing test goods and CMs under the same conditions by pressing cordless keypads 6. Data of the keypads 6 are received with a receiver 7 and taken with a CPU 8 to totalize. The CPU 8 is connected to consoles 10 and 13 of separate chambers and the results of the totalization are shown on displays 11 and 14. Reactions and behaviors of human beings passing judgements quickly and questionnaire type responds are totalized with the CPU 8 immediately to find results at a separate chamber in no way affecting the subjects. The subjects are free from effect of any special environment but holding pads 6. Moreover, a numeral display of the pad 6 can be mounted invisible from an adjacent seat thereby allowing the subjects to respond freely, not disturbed by an adjacent person.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office